

## 別紙 「平成31年度 学力向上アクションプラン」

足立区立洲江中学校 学校長 井原 武彦

		アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標 (=数値) <いつまで・何を・どの程度>
1	継続	ベーシックテスト補充	全学年 数学 ベーシックテスト正答率 80%未満	年5回	【指導体制】全教員 【取り組み内容、ねらい・目的】小学校内容が未定着の生徒をテストにより抽出し、教員と生徒が1対1で、できるようにするまで指導する。 【使用教材】東京ベーシックドリル	正答率80%になるまで補習および、再テスト	補充期間中に対象者が目標値を通過する割合が100%
2	継続	コンテスト補充	全学年 英語・数学・国語 各コンテスト正答率80% 未満	各教科年1回	【指導体制】学年担当教員 【取り組み内容、ねらい・目的】上記戦略にある内容を重点的に学習し、同内容でテストする。その正答率80%未満を対象に補充する。再テスト、および復習。 【使用教材】プリント教材(国、数、英)	正答率80%になるまで補習および、再テスト	コンテスト後約2週間までに実施する再テストで対象者が目標値を通過する割合が100%
3	継続	サマースクール (基礎コース)	全学年 国語・数学・英語 目標値未満 各学年約30名程度を募集	夏休み期間中の7日 各日50分	【指導体制】 教科担任1名+学年サポートメンバー1名 【取り組み内容、ねらい・目的】当該年度の前半期の内容でつまずきおよび学力調査の目標正答率が高い問題で、本校の生徒の達成率が低い問題の未定着を解消する。T1が問題の説明を行い、T2が机間指導をすることで解消を図る。 【使用教材】プリント教材	サマースクール終了後、確認テストおよび定期テストで確認。	夏休み終了後の確認テストで全員の正答率を20%の上昇できなかった場合、冬休みの宿題でもう一度勉強し直す。
4	継続	家庭学習の習慣化	全学年 全員 数学 英語	各教科週1回 3か月間	【取り組み内容、ねらい・目的】毎日2ページの家庭学習ノートを提出。 週2回分の学習内容を区学力調査の正答率の低い問題が定着するような内容に限定する。	宿題提出状況調査	全学年宿題提出率を80%にする
5	継続	1年間の総復習	1, 2年 全員 5教科	2月中旬～4月	【取組内容・ねらい・目的】復習確認テストを行い、学習内容の定着度を確認し、定着度の低い問題を授業で解説し、春休みの宿題で確認。	宿題提出状況調査	全員の宿題提出率を100%
6	新規	語彙力アップ	全学年全員	通年	【指導体制】全教員 【取組内容・ねらい・目的】 朝学習の時間を利用し、語彙力・表現力のトレーニングおよびテストを行い、点数の低い生徒を対象に放課後補充を行う。 【使用教材】プリント教材	必要な語彙などを選出し、出題傾向を変え繰り返しテストを実施	授業等において活用できているか確認する